

平成27年度第2回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要

開催日時	平成 27 年 5 月 25 日 16 時 ~ 16 時 45 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、牧野、伊藤、浅野、家崎、坂(敬略称、順不同)

新規研究計画の審議

申請者	西口 大貴
研究名	脳性麻痺者における歩行器の違いによるエネルギー効果の比較
研究内容 要旨	12歳以下の脳性麻痺児に対しては後方支持型歩行器の方が歩行中の体幹や下肢の伸展を高め、酸素消費量が少ないことが推奨されているが、それ以上の年齢では検証されていない。本研究では12歳以上の脳性麻痺患者における前方および後方支持型歩行器使用時のエネルギー効率を比較する。
審議結果	条件付き承認
意見	以下の場合には研究機関の長へ文書で報告する。 研究に関する情報の漏洩等、研究対象者等の人権を尊重する観点または研究の実施上の観点から重大な懸念が生じた場合。 研究の倫理的妥当性、もしくは科学的合理性を損なう恐れのある事実、情報を得た場合。 研究実施の適正性、結果の信頼性を損なう恐れのある事実、情報を得た場合。 重篤な有害事象の発生を知った場合。 研究を終了した場合。 その他、研究の進捗状況、有害事象の発生状況について年に一度報告を行う。 本研究は大学病院医療情報ネットワークセンター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。

新規研究計画の審議

申請者	野口 佑太
研究名	透析中の集団運動療法が身体機能・自律神経機能に与える影響
研究内容 要旨	透析中の運動療法を集団で行うことで運動習慣が構築されやすいと考えられる。そこで当院の透析患者に対して集団運動療法を実施して身体機能と自律神経機能にどのような影響を与えるか調査し、効果について検討する。
審議結果	条件付き承認
意見	以下の場合には研究機関の長へ文書で報告する。 研究に関する情報の漏洩等、研究対象者等の人権を尊重する観点または研究の実施上の観点から重大な懸念が生じた場合。 研究の倫理的妥当性、もしくは科学的合理性を損なう恐れのある事実、情報を得た場合。 研究実施の適正性、結果の信頼性を損なう恐れのある事実、情報を得た場合。 重篤な有害事象の発生を知った場合。 研究を終了した場合。 その他、研究の進捗状況、有害事象の発生状況について年に一度報告を行う。 本研究は大学病院医療情報ネットワークセンター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。

教育・研修

委員長を講師として新しい倫理指針の内容について勉強会を行った。倫理委員会の事務員(小林)も参加した。